「苗木 for いわき」プロジェクト

２０１２－２０１７

NPO法人トチギ環境未来基地

フクシマ環境未来基地

協力：磐城森林管理署、いわき青年林業会議所、NPO法人いわきの森に親しむ会

2011年3月11日

2011年3月11日に発生した、東日本大震災では、福島県いわき市も地震、津波により大きな被害を受けました。また、福島第一原子力発電所の事故の影響も大きく受けました。
暮らしを守ってきた自然も大きな被害を受けました。新舞子海岸の海岸林でも多くの木が枯れてしまいました。

いわき市の東日本大震災による被害状況
人的被害　死亡者467名（関連死・行方不明者含む）
建物被害　　全壊　7,902件、大規模半壊9,253件、半壊33,146件
いわき市に住民票を移さず、避難している方21,114名　　（平成30年１月末現在）

命を救った、海岸林

新舞子海岸には、江戸時代に植えられた立派なクロマツの林がありました。このクロマツの海岸林は、津波発生時、津波の被害を小さくすることに役立ちました。海岸林をつくった先人の努力が多くの人の命や財産を守ることにつながりました。内陸の家屋や田畑を守ったこと、海岸沿いの道を走っていた車を、引き波から守ったこと、あらためて海岸林の重要性を認識する機会にもなりました。

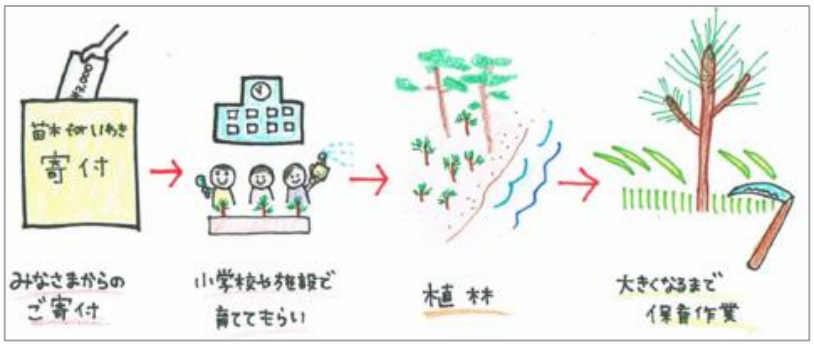
しかし、この海岸林のクロマツの多くが枯れてしまいました。津波によって倒れてしまったものもありますが、それよりも、地盤沈下により根腐れをしたものや、弱っているところに松くい虫の被害が出てしまったことなどが原因です。

みんなの力で、海岸林の再生を

その被害を受けた海岸林を再生するためのプロジェクトとして2016年６月より、「苗木 for いわき」プロジェクトをスタートしました。多くのボランティア、支援者の皆様とそれぞれができることを持ち寄り、海岸林の再生に貢献していく活動です。磐城森林管理署と、いわき青年林業会議所が震災前から「市民参加の森づくり」の場所として協定を結んでいるエリアで活動を行っています。

海岸林はそこに暮らす人だけでなく、国民の財産でもあります。みんなにとって大切な海岸林をもう一度取り戻すことができるように、活動を行っています。

「苗木 for いわき」プロジェクト



みなさまからの貴重な寄付を財源に、抵抗性クロマツを購入し、いわき市、栃木県内の小学校や福祉施設などで育てていただき、大きくなったら植林します。

植林のための整備や、植林後の保育のための草刈りもボランティアの皆さんの力を得て行っています。
プロジェクト事務局は2012年～2015年はNPO法人トチギ環境未来基地が担い、2016年度からはフクシマ環境未来基地が担っています。

作業１　植林ができるように、枯れ木の片付け

植林を行う前に、枯れたクロマツの片付けや、藪になったところの、刈払いの作業が必要です。大きなクロマツはプロやベテランの方々に切っていただき、玉切りした木をきれいに並べて片付けます。
小さな広葉樹の木などもいったん除伐し、クロマツの苗木を植えるスペースをつくっていきます。
藪になったところには、外来植物のニセアカシアやセイタカアワダチソウなども繁っているのでそれらも刈払います。

植林作業には、小学生などの子どもたちも多く来てくれるので、作業中に転んでけがをしないように、地面すれすれからきれいに除伐をしていただいています。

作業２　大きく育てと願いを込めて
植　林　作　業

整備が終わった場所から順次植林を行っています。植林の間隔は1.4m。トウグワという道具を使い、穴をほり一本一本植えていきます。
子どもでも、障がいがあっても、誰でもできる作業です。暑い夏の時期を除き、来ていただいた方に毎回１－２本づつ植えていただいています。

松くい虫の被害に強い、抵抗性クロマツの苗木を植えています。

プロジェクトによる植林本数：約18,000本

作業３　クロマツの成長を感じながら

草　刈　り　作　業

植林後、そのままそっとしておけばクロマツは元気に育つ、というわけにはいかず、小さいうちは保育作業が必要です。一番は、苗木の周りの草刈りです。草のほうが成長が早いのであっという間に苗木よりも大きくなり、周りを覆ってしまいます。そうするとクロマツの苗木に光が当たらなくなってしまうので、草刈りが必要になります。

この草刈り作業にも多くのボランティアの皆さんが汗を流してくださいます。基本はカマでの手作業です。草に埋もれた苗木の周りを丁寧に刈ってくださっています。
この草刈り作業は、年に３回は全面で行っています。

また、外来種のセイタカアワダチソウ（黄色い花）もすぐに広がるので、この草はできる限り除去をしています。

集まった、たくさんの力

　市民の力によるいわき市の海岸林の再生プロジェクトに多くの人たちが共感し、参加してくださいました。
　枯れた木の片付け、草刈り、植林は基本的に手作業で進めているため、人の力が頼りです。
　個人としての参加、企業として、団体としての参加、修学旅行の一環として参加など、参加の方法はそれぞれですが、皆様、限られた時間の中で一生懸命作業をしてくださっています。

2012年６月～2018年1月末までの延べ活動人数

６，９１４人

グループ・団体で活動にご参加いただいた皆様

コマツユニオン小山支部　様、Merck　Japan様、アマゾンジャパン株式会社　様
連合栃木下都賀地域協議会、昭和電工ユニオン 様、さくら市教育委員会　教職員 様、杉並区職員労働組合様、
富士フイルム労働組合 様、連合栃木 様、なすから教育支援ネットワーク 様、いわき平ロータリークラブ　様、
東北電保労　様、ＮＴＴ東日本　様、佐野市社会福祉協議会　様、オートテクニックジャパン　様
コマツ小山工場工師会様、地球緑化センター森林・竹林・里山を整備する仲間の会様、国際ソロプチミスト小山　様、
電機連合栃木地域協議会 様、連合神奈川青年委員会 様、プルデンシャル生命保険 様、
NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク　様、いわき明星大学ボランティアセンター　様、
東京海上日動システムズ様、福島Toyopet様、電機連合福島様、とちぎYMCA様、自由空間エルファロ様、
青山学院大学ボランティアサークルSHANTISHANTI様、

次世代が体で感じること

　子どもたちとの活動も大切にしています。近年は修学旅行での参加など、子どもたちの震災学習の一環で現場に来てもらえる機会も増えてきました。学校によっては、事前学習ということで学校に呼んでいただいて、スタッフが震災のこと、いわき市のこと、海岸林のことを講話させていただく場合もあります。

熱心な先生方が多く、生徒をサポートしながら子どもたちがより多くのことを感じ、学んでくれるように声をかけたり、質問をしたりという場面をよく見ます。

現地にきて、自分の体をつかって感じること、考えることはいつまでも心に残るものだと思います。未来を担う子どもたちが、現地で活躍しています。

修学旅行や、教育旅行の一環で活動に参加いただいた学校

上松山小学校（栃木県）、喜連川中学校（栃木県）、阿久津小学校（栃木県）、種足小学校（埼玉県）、
村君小学校（埼玉県）、岡山南高校（岡山県）、高田高等学校（大分県）、飛龍高校（静岡県）、
三和高校（茨城県）、南筑高等学校（福岡県）、藤間中学校（いわき市）、フリースペースひよこの家（栃木県）

離れていても、小さくても

　クロマツの苗木を、学校や、職場で育てていただくクロマツパートナーの皆様も各地で活躍してくださいました。

　遠くて、小さくて、高齢で、障がいがあってなど、気持ちはあってもなかなか現地に行くことができない人たちもいます。
　それぞれの場所で応援、それもとてもありがたいことです。

7 4 団体

クロマツの苗木を育てていただいた、クロマツパートナーの皆様

一般社団法人とちぎ青少年自立援助センター 様、 一般社団法人栃木県若年者支援機構 様、 NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク 様、
グループホーム草想舎 様、 認定しぜんこども園風と緑の幼稚園 様、学校法人高根沢育英会高根沢第二幼稚園 様、栃木県立益子特別支援学校 様、
社会福祉法人 益子のぞみの里福祉会美里学園 様、 認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク 様、 2 tree café 様、
トライ東（宇都宮市青少年活動センター） 様、フリースペース　ひよこの家 様、 宇都宮市立鬼怒中学校 様、
医療法人北斗会宇都宮シルバーホーム様、佐野市社会福祉協議会様、 宇都宮市立平石中央小学校 様、 宇都宮市立平石北小学校 様、
平石地区まちづくり協議会 様、 NPO法人足尾に緑を育てる会 様、 ボランティアグループ1+1 様、さくら市立上松山小学校 様、浄鏡寺 様、
学校法人北城学園平出幼稚園様、 医療法人社団豊和会グループホーム菜の花園様、・多機能ホーム菜の花 様、メダカ里親の会様、
デイサービスセンターあおぞら様、社会福祉法人幸世会様、高齢者介護施設　宝夢様、合同会社ラムタフ 様、上三川町立本郷小学校 様、
上三川町立坂上小学校 様、上三川町立本郷北小学校 様 、チームみやおとめ 様、クロマツマツパートナー森島様、コミュニティ広場Bonbon 様、
星の宮幼稚園 様、チーム金次郎 様、 ほしのみや保育園 様、星降る学校 くまの木様、特別老人ホーム県西せいかん荘 様、
トライ東ネイチャーキッズ係 様、 作新学院高校硬式野球部 様、 チーム黒松松子 様、高根沢町立阿久津小学校 様、村君小学校様、種足小学校様、
NPO法人いちかい子育てネット羽ばたき様、コマツ小山工場様市貝町観光協会様、古川　正子様、島田　里美様、井澤　輝美様、
社会福祉法人エルファロ自由空間 様、 いわき自立生活支援センター 様、3.11被災者を支援するいわき連絡協議会 様、NPO法人ザ・ピープル 様、
千日紅（せんにちこう）の会 様、 木紅木（きくもく） 様、 チーム結　（ありがとうファーム） 様、 下矢田仮設住宅 様、江名小学校 様、
Open Garden Iwaki 様、チーム戸渡 様、いわきリエゾンオフィス企業組合 様、ぱお広場 様 、福島県立平商業高校 様、リブロ内郷企業組合 様、
いわきサポートステーションもみの木 様、 いわき市立永崎小学校 様、 大玉 畑の学校 様、福島県立双葉高等学校 様、 いわき市立藤間中学校 様、
東日本国際大学附属 昌平中学高等学校 様、チームフォレストタウン 様

たくさんのご支援

　ご寄付も多くの方にいただきました。ご寄付を財源に、クロマツの苗木の購入や活動のコーディネートを行っているので、皆様からのご寄付が活動を支えています。
　個人、団体、企業、様々な形でご寄付をいただいております。また、音楽家の皆様がチャリティCDを製作販売してくださったり、店舗に募金箱を設置いただいたり、仕組みも一緒に作っていただいたところもあります。

10,043,311円

プロジェクトへご寄付及び寄付集めにご協力をいただいた皆様

金井 佳代子様、安藤 芳樹様、郷間 正子様、山本 真吾様、矢野 正広様、石川 慎太郎様、ダンバダジ様、飯村 康隆様、生野 裕子様、川守田 修平様、蓑田 裕美子様、徳山 篤様、金井 志保子様、中村 真理子様、山岡 由佳様、大島 千春様、石垣 武様、梶原 紀子様、富士フイルム労働組合 様、渡辺 範子様、八代 紀男様、渡辺 すみよ様、
社会福祉法人エルファロ自由空間様、鈴木 正人様、古河 大輔様、千波 博希様、関 正一様、岩井 俊宗様、菊地 昭三様、小川 拓馬様、廣田 美佳様、斎藤 朱里様、志賀 道子様、山野辺 麻恵様、高橋 郁様、重松 敏則様、小牧 明広様、
医療法人 北斗会 様、矢板橋 浩二様、黒須 正治様、池田 フヂ子様、益子石油組合 様、君嶋 福芳様、佐藤 榮子様、吉川 かおり様、社会福祉法人益子のぞみの里福祉会 様、大川 もゆる様、小野寺 美佳様、玉生 勝経様、金吉 純子様、安藤 芳夫様、高橋 早苗様、根岸 正行様、石田 昌義 様、鈴木 賢一 様、米田 至誠 様、スガマタ　サトミ様、ダイヒサ　ユキ様、長岡　宗一 様、国際ソロプチミスト小山 様、高橋　昭彦 様、富士宮市ボランティア様、
さくら市立上松山小学校 様、平出幼稚園 様、坂田 武様、渡辺 みゆき様、浄鏡寺 様、Brown Blessed Voice 様、目黒 由美様、猿渡 常雄 様、加藤油店様、一般社団法人栃木県若年者支援機構 様、鶴田 加一 様、
社会福祉法人幸世会 様、伊藤 将汰 様、金田 むつみ 様、廣畑 昌江 様、石黒 洋二 様、田中 亜希子 様、中島 久弥 様、田村 由記子 様、國吉 健司 様、庄司 良子様、足利しらゆり幼稚園内 おひさまの会 様、田中 高央 様、天知 稔 様、安野 元 様、目黒 由美 様、上野 長一 様、小嶋 佑規 様、多機能ホーム菜の花 様、熊谷 裕子 様、北條 嘉子 様、水戸 昇 様、川元 由美子 様、河合 富夫 様、栗田 満佐子 様、クロマツパートナーinさのの皆様、渡部 有里 様、福山 良子 様、沖野 道子 様、渡邊 範子様、株式会社アマゾンジャパン様、田村 由紀子様、長南 みよ子様、池田 明 様、こじま ゆうき様、NPO法人ワーカーズコレクティブ　たすけあい大地 様、藤咲　健司、うずまっこ 代表　志鳥 様、うつのみやぐるり市実行委員会様、簗瀬　遼太様、認定自然こども園 風と緑の幼稚園 様、FukuFuku様、

佐通 真由美 様、田野辺 敬子様、鈴永 雅美様、塩原 裕美様、ストウ　トモユキ様、井上 雅弘様、深沢 勝和様、高柳 葵様、小暮 悦子様、稲葉 浩一 様、寺内 涼華 様、栗田 美保様、高野 和彦 様、伊東 俊 様、小林 淳子 様、大泉 和也 様、大栗 妙子 様、柴谷 恵子 様、綛山 顕永 様、塚本 明子 様、栗原 放 様、湯本 尊 様、手塚 浩美 様、曽根 駿介 様、池田 秀昭 様、大谷 晴美 様、染谷 敏治 様、ホア・レー 様、松本 奈々美 様、平木 千紗子 様、樋熊 千尋 様、小島 宏様、喜連川中学校 様、よしおか　やすえ様、村上 徹也様、前田 利一 様、橋本 裕太 様、西根 宏行 様、隅 節子 様、橋本 陽様、さくら市教育委員会の皆様、上野 光祥 様、企業組合とちぎ労働福祉事業団 様、宝島 文代 様、吉井ひさの 様、さくら市立喜連川中学校の様、山崎 宏 様、みまやバレーボールスポーツ少年団 様、いわき内郷ロータリークラブ 様、Drink Space gom!!様、内郷商工会青年部 様、内郷商工会女性部 様、佐藤 英彬 様、丸橋 睦子 様、高根沢町立阿久津小学校の皆様、昭和電工ユニオンの皆様、いわき市立昌平中学校様、森林・竹林・里山を整備する仲間の会 様、 市貝町ふじやまを保存する会 様、連合栃木下都賀地協様、藤崎 ゆうこ様、さくら市立上松山小学校児童会企画委員 様、植田 一太 様、磯崎 二夫様、株式会社たいらや様、エコハイ株式会社様、昭和電工ユニオン様、連合栃木下都賀地域協議会様、エコ・ハウスたかねざわ 様、2 tree café 様、ヘイコーパック 様、益子の茶屋　1号店 様、益子の茶屋　2号店 様、益子の茶屋　3号店 様、Moga 様、 ん・たろうの店（2店舗） 様、岡精肉店 様、やきとりの竜鳳（4店舗）様、高島油店様、ファイテンプラスアルファ 様Sports Zero様、株式会社アサヒ飲料様、Merck　Japan様、木を植える音楽家の皆様、いわき平ロータリークラブ様、CAFE kiitos様、きのことマサ様

これから

海岸林の再生は、長い年月がかかる取り組みです。活動も継続していくことが大切だと考えます。
2018年度以降も引き続きいわき市の海岸林の再生に多くの皆様とともに進めています。

今後の目標
整備するエリアと植林
第３次目標で掲げた、24,000本の植林がまだ達成できていないので、2018年、2019年の目標を、24,000本の植林の達成とします。目標達成まで残り5,000本です。そのために、まだ整備の終わっていないエリアで植林の準備作業を行い、順次植林をしていきます。

ともに活動するボランティアの皆様
植林ができたクロマツの本数が増え、草刈りの必要な面積も年々増えております。ですので、引き続き多くの皆様に現場にきていただき一緒に作業を進めたいと思います。年間1,400名のボランティアの皆様と活動することを数値的な目標とします。また、来ていただいた一人ひとりの力が発揮できるようにコーディネートにも力をいれます。

海岸林を接点とした、人と人、人といわき市のつながりづくり
修学旅行などの教育旅行も積極的に受け入れていきたいと思います。一人でも多くいわき市に来ていただき、震災について知り、いわき市を応援してくださる人を増やしていけたらと願っています。

引き続きご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

「苗木forいわき」プロジェクト　事務局

フクシマ環境未来基地

住所：〒970-1376
福島県いわき市三和町下三坂永久保40

電話：0246-85-2777

E-mail　fukushima@conservation-corps.jp

HP　http://fukushima-c-c.jimdo.com/

苗木 for いわき プロジェクトHP http://naegi.jimdo.com/